

令和8年度 施政方針

誰もが「住みたい」
「住み続けたい」と思えるような、
「最高に住みやすいまち」の
実現に向け、鈴鹿の未来に
大きな希望を紡いでまいります。



令和7年度は未来への種まきを行った、大きな節目となる一年でした。
東京事務所を設置し、首都圏での経営資源の獲得や、鈴鹿市の魅力を発信するシティプロモーションを行ってきました。
また、未来を担う子どもたちが将来に夢と希望を持って生きていけるよう鈴鹿市子ども条例を施行しました。
新たに迎える令和8年度

は、市民の皆様が住みやすさを実感できるよう、また種を芽吹かせ大きな実りへと結びつける「飛躍の一年」にまいります。
人口減少対策
まちの活力は人にあります。次代を担う子どもたちが健やかに育ち、質の良い教育を受けられる環境を整えることは、本市の未来を支える確かな基盤づくりにほかなりません。本市は民



昨年4月に施行した
鈴鹿市子ども条例



鈴鹿を盛り上げてくれる
すずかプロモーション部の部員

間機関の調査で共働ぎで子育てしやすいまちとして令和4年以降連続で非常に高い評価を受けています。さらに、鈴鹿市子ども条例の理念のもと、全ての子どもが将来に夢と希望をもって生きることができるとして社会の実現を目指します。
また、本市の強みであるものづくりの技術やモータースポーツをはじめとする地域資源などを生かし、地域経済に新たな賑わいと活力を呼び込むため、その魅力を市内外に向けて積極的に発信し、シビックプライドの醸成や東京事務所を核とした首都圏での関係人口づくりをさらに進め、「選ばれるまち・鈴鹿」の実現を目指します。
DXの推進
行政のさまざまな分野で積極的にデジタル技術を取り入れ市民サービスの質を飛躍的に高め、より良い暮らしと持続可能な社会の実現に向けた変革を着実に進めてまいります。

▼「書かない窓口」の実現や 行政手続きの オンライン化を進めます

「書かない窓口」は、マイナンバーカードなどの情報を自動で読み取ることにより、窓口での申請書の記入が不要となり、手続きの負担を軽減する仕組みです。市民生活の利便性向上と行政事務の効率化を図るため、書かない窓口の実現に向けた調査検討を行います。

また、行政手続きのオンライン化や生成AIなど、デジタル技術を活用し、より質の高い行政サービスを提供できるよう、更なるDXの推進に取り組んでいきます。



人口減少対策

▼こどものための計画 「鈴鹿市こども計画」の 策定を始めます

こどもの権利を守り、社会全体でその健やかな成長を支え合うため、本市では、令和7年4月に「鈴鹿市こども条例」を施行いたしました。

本条例の理念のもと、こどもの意見を尊重し、こどもの最善の利益を第一に考える「こどもまんなか社会」をより確かなものとするため、こども施策を総合的かつ計画的に推進するための指針となるものが鈴鹿市こども計画です。

計画の策定に当たり、こどもや若者の声を丁寧に聴き取り、共に考え、こどもたちの未来をより良いものとするため、その声を計画に反映していきます。



▼ごみ出しが困難な 高齢者や障がい者の方を 対象に戸別収集 「ふれあい収集」を 開始します

「ふれあい収集」は、福祉サービスのの一環として、在宅生活を送る高齢者や障がい者の方のうち、ごみ集積所までごみを持っていくことが困難な方に対し、職員が戸別に訪問し、ごみを収集する制度です。

対象となるのは要介護3以上の認定を受けた方、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳2級以上、療育手帳Aをお持ちの方で、単身か世帯全員が先の要件に当てはまる方です。

この制度により利用者の負担を軽減し、住み慣れた地域での暮らしをサポートしてまいります。

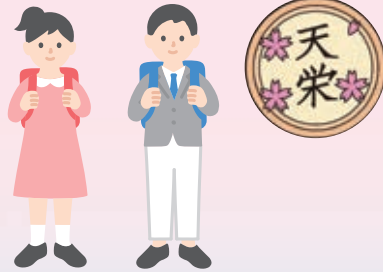


この特集に関するお問い合わせは総合政策課

☎059-382-9038 📠059-382-9040 ✉sogoseisaku@city.suzuka.lg.jp

▼ 天栄小学校開校

合川小学校、天名小学校、郡山小学校を再編し、天栄小学校を開校しました。天栄小学校での取り組みを通じて将来の義務教育学校への移行につなげていきます。



▼ 学校トイレの洋式化

鈴鹿市公共建築物個別施設計画に記載されている学校トイレの洋式化を着実に進めていくことにより、教育環境の更なる充実を図ります。児童生徒の快適な学校生活を支えるため、改修工事の前倒し等も視野に入れながら検討を進めていきます。



ビジョン 1
子どもが輝き
人と文化を
育むまち

▼ 終活情報の登録

核家族化などにより、頼れる身寄りのない高齢者が増加傾向にあることから、緊急連絡先などをあらかじめ決めておく終活情報の登録などの支援を行います。

▼ 「がん」への対策強化

国民病とも言われる「がん」への対策として、市内基幹病院のがん診療機器の整備に対する支援を拡充し、誰もが高度な医療を受けられる体制を確保します。合わせて、40歳未満のがん患者の方が自宅で自分らしく安心して日常生活を送れるよう、在宅療養に係る経済負担の軽減を図ります。



▼ 防災・減災力の強化

防災DXを加速させるため、新たな「総合防災情報システム」を導入し、令和10年度の運用開始に向け整備を進めます。また、南海トラフ地震の被害想定の見直しなどを踏まえ、ハザードマップを更新します。

▼ 道路ネットワークの構築

市民生活や産業活動を支える幹線道路は、災害時の避難や物資輸送の生命線です。本年3月に磯山バイパスが全線開通し、中勢バイパスとつながり新たな道路ネットワークが構築されます。

今後は、「汲川原橋徳田線2期事業」の整備や、「鈴鹿亀山道路」、「鈴鹿四日市道路」の早期整備の要望活動を行い、道路網の充実に取り組みます。

ビジョン 2
健やかに
いきいきと
暮らせるまち

4車線化を進めている
汲川原橋徳田線2期事業



ビジョン 3
生命と財産を
守り抜ける
安全・安心のまち

市総合計画
2031
ビジョン



持続可能なまちづくりのための計画策定に着手します

少子高齢化に伴う人口減少が進む中、持続可能な都市構造を維持するため、コンパクトなまちづくりを推進する「立地適正化計画」を策定し、あわせて、まちづくりと連携した地域公共交通ネットワークを構築する「鈴鹿市地域公共交通計画」の改定に着手します。

環境衛生施設の計画的な更新を進めます

現在事業を進めているクリーンセンターの整備をはじめ、斎苑の改築、清掃センター、不燃物リサイクルセンターの更新に向けて計画的な検討を行います。



クリーンセンター完成イメージ図

ビジョン 4
自然と調和し
快適な都市環境を
未来へつなぐまち

ビジョン 5
持続可能な
産業の発展と
にぎわいや交流が
生まれるまち

鈴鹿
6つの

ビジョン 6
みんなで支える
自分らしく
生きるまち

大都市圏でのシティプロモーションで経営資源獲得を

東京事務所を拠点に、国や民間企業、大学などのネットワークづくりを一層進めることで、移住・定住の促進や関係人口の拡大、企業誘致など、更なる経営資源の獲得に向けて戦略的に取り組みます。



首都圏でのシティプロモーション

もっとUーリターン就職を。大阪での就職フェア実施

昨年まで東京で開催していた就職フェアを大阪でも実施します。関西在住の若者をはじめ、幅広い世代にアプローチし、鈴鹿市での就職、移住・定住への流れを作ります。



農業者を支援し、持続可能な農林水産業の実現を

スマート農業など新たな技術の導入、また、お茶などの特産物や新たな作物の栽培に挑戦する農業者を支援し、地産地消の推進を図ります。



大学や企業と連携し政策課題の解決を

学官連携による市内の高等教育機関や包括連携協定を締結している愛知大学など、民間の視点や若い世代の発想を広く市政に取り入れながら「市民力の向上」と「行政力の向上」を図ります。



愛知大学の学生による政策提案発表